

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



～ 地域内連携協議会における「食」を通じたまちづくり ～

高知市では、地域コミュニティの再構築事業として、地域内連携協議会の設立と並行して、地域住民との協働のもと、自分たちの住む地域をこんな地域にしたいといった想いをまとめたコミュニティ計画の策定に取り組んでいます。今回はそのコミュニティ計画を策定している横浜・瀬戸地域から、「よこせと連携協議会」が行う、食を通じた活動をご紹介します。

よこせと連携協議会（横浜・瀬戸地域）の取組

よこせと連携協議会では、食に関わる取組として、「よこせと海辺のにぎわい市」や「浦戸湾海洋調査ニロギ釣り」を毎年開催しています。

例年5月に開催される「よこせと海辺のにぎわい市」では、普段中々見ることのできないマグロの解体ショーが開催されるほか、市内各地の農産物の販売や地域団体の出店などがあります。今年は約2,000人が来場しました。



よこせと海辺のにぎわい市の様子



浦戸湾海洋調査ニロギ釣りの様子

また、浦戸湾海洋調査ニロギ釣りは、浦戸湾内でニロギをはじめとする魚を釣って浦戸湾の生態系を学ぶ、大人も子供も楽しめる行事です。コロナ禍前までは、釣ったニロギをニロギ汁にしてみんなで食べるまでを、イベントとして実施していました。

この2つのイベントは、「食」という共通したテーマのもと、多くの人々が交流し、食への知識と感謝を深める機会となっています。

“市民と行政の協働によるまちづくり”を目指して

こうした“食”を通じたまちづくり活動は、その他の地域内連携協議会においても取り組まれ、地域住民の交流や情報共有の場として活用されています。各地域内連携協議会の活動については、右の二次元コードからご覧ください！



高知市地域コミュニティ推進課 HP
地域内連携協議会